

北杜市立中学校再編整備検討委員会（第1回会議） 会議録

1. 会議名：北杜市立中学校再編整備検討委員会（第1回会議）
2. 日 時：令和4年7月26日（火）午後7時00分～
3. 場 所：北杜市役所西会議室
4. 出席者：
（委 員）森本貴代美・清水好美・植松耕三・牛田昭一・桜井彰一・
小池雅美・保坂一・白倉美奈子・栗澤正子・日向五十鈴・
小林明・輿水清司
（事務局）宮川北杜未来部長・川端下政策推進課長
加藤教育部長・平井参事・鷹左右教育総務課長・
進藤教育指導監・浅川総務担当リーダー・大久保総務担当
5. 議事
（1）北杜市立中学校再編整備検討委員会設置要綱について
（2）小中学校適正規模等審議会からの答申について
（3）新・行政改革大綱について
（4）北杜市の学校教育について
（5）その他
6. 公開・非公開の別：公開
7. 傍聴人の数：1人

議 題

(1) 北杜市立中学校再編整備検討委員会設置要綱について

(ご意見等は特になし)

(2) 小中学校適正規模等審議会からの答申について

(委員長) 事務局から説明がありました。ご質問等ありますでしょうか。

(委 員) 資料6ですが、令和4年度のデータには甲陵中学校が入っていますが、令和10年度のデータには入っていません。資料5には、中学校生徒数の推移が掲載されていますが、甲陵中学校はどのように扱われているのでしょうか。

(事務局) 資料6、令和4年度現在の市内の生徒数ですが、甲陵中学校の各学年40人を含めた1,075名が総数となっています。

次に、小学校から中学校に進学する際の動きですが、毎年約12～3名が北杜市内の小学校から甲陵中学校に進学しています。他にも、甲府市の山梨学院や英和や駿台といった私立の中学校、ならびに韮崎市の東中・西中などに進学する生徒が12～3名います。一方で、小淵沢のアメイジングアカデミーというサッカークラブに毎年20名程度加入し、さらに転入で5名程度増えていることから、現在の市内の小学校の児童数が、ほぼそのまま甲陵中学校を除く市内の8中学校の生徒数になっているという実態があります。

資料5のグラフには、令和4年については1～3年生の生徒120名が、令和5年度は2～3年生の生徒80名が、令和6年度は3年生の生徒40名がカウントされています。令和7年以降については、甲陵中学校の生徒はカウントされていないという状況になっています。

(委 員) 資料5では、令和4年で生徒の総数は1,075人。これが、令和10年には北杜市の中学校で877人。このように減るといいう話でよいのでしょうか。

(事務局) 令和7～10年度までは甲陵中学校の生徒数を抜いていますが、令和6年度までは入ってしまっています。

(委員長) 今の説明が読み取れるような資料にしてください。では、他にご質問等ありますでしょうか。

(委 員) 再編整備の案やワークショップの結果など、とても分かりやすいと思えました。ありがとうございます。その中で、ワークショップの参加者が気になりましたがどのような方々だったのでしょうか。

(事務局) ワークショップの参加者については、地域は、各地区の区長会の正副会長さん、地域委員会の正副会長さん、保護者は、小中学校のPTAの正副会長さん、保育園の保護者会の正副会長さん、それに公募の方を加えてご意見をいただきました。

(委員) 出された意見は、個人の意見なのでしょうか、所属団体の意見なのでしょうか。

(事務局) 参加者の中には、各地区の意見ということで出していただいたり、PTAの役員さんの意見ということで出していただいたり、PTAのアンケート結果を出していただいたりといったこともありますが、原則的にはワークショップの参加者個人の意見を出していただければよいという場として運営しました。それぞれの所属団体の意見を代表してというまとめにはなっていないので、ご了承ください。

(3) 新・行政改革大綱について

(委員) 中学校の統合も公共施設の保有量の最適化の各論の1つとされていますが、市立図書館や市立保育園も縮小の対象とされており、既に縮小が進んでいるものもあります。このようなことに対して、どのように市民の理解を得るのか、理解を得られるような場面づくりや説明を丁寧に行ってほしいと思います。私の周りでも、市立図書館の規模縮小にナーバスになっている人や、自分の子どもを通わせていた保育園が閉鎖になってしまった人がいます。公共施設の保有量の最適化というのは必要だと思いますが、理解を得るということをもう少し丁寧に行っていただきたいと感じます。

(事務局) 公共施設が減ることについては、多くの方からご意見をいただきます。中には、神経質になられている方もいらっしゃるということも承知しています。そのため、市民には市の方から説明をしていくべきと思います。現在、コロナで延期となっていますが、「市長と語る会」といったものを定期的に開催し、行政改革大綱や公共施設の保有量の最適化について市民に丁寧に説明していく予定にしています。

また、今後、公共施設の個別管理計画を策定していきますので、市民アンケートを実施する中で広く市民の意見を吸い上げて、計画に反映させていきたいと思っています。

(委員) 市が考えていることが市民に十分伝わっていないということを感じるので、説明をしているということで安心せず、市政と市民の情報格差を埋める働きかけをもっとしてほしいと思います。

(事務局) ご意見ありがとうございます。市民への説明がまだまだ足りないというこ

とで、これまでの方法に加え、時代に合わせて SNS や YouTube 等を活用しながら市の取り組みを伝えていきたいと思います。

発信だけではなく、見ていただける工夫をしながら、理解を広げていきたいと思います。

(委員長) 中学校の再編については、これから具体的な検討になります。今後も、市民への説明が必要となるので、委員の皆さんにもご意見をいただきながら進めていきたいと思います。

(4) 北杜市の学校教育について

(ご意見等は特になし)

(5) その他

(事務局) 次回の検討会は 10 月上旬を予定しています。また、今年度中に 2～3 回の開催を予定しています。次回からの検討内容ですが、先ほどの 3 つの案を今年度中に 1 つに絞っていければと思います。

3 つの案のそれぞれのメリット・デメリットについては、改めて詳しくご説明させていただきたいと思います。

(委員長) 事務局から今後の予定について説明がありましたが、これについて、また全体について質問がありましたらお出してください。

(委員) 今年度、PTA 活動でこの委員会だけでなく、様々な会議に参加させていただく中で、市の取り組みを拝見させていただいています。その中で、子どもたちが多くの時間過ごす学校で、気持ちよく 1 日を過ごせるような学校教育ということで、書面にきれいにまとめるだけではなく、実際の子どもたちに寄り添った教育・支援が必要だと思います。例えば、いじめ・不登校については、いじめだけが不登校の原因じゃなかったり、センシティブな特性を持ったお子さんもいたりということも、中学校の再編整備に反映していけたらいいと思いました。

(委員長) 学校の小規模化だけでなく、子どもたちを取り囲むいろいろな課題があると思いますが、そういったところの現状や実態や課題等にも目を向けながら、この再編整備を進めていきたいと捉えさせていただきました。その他はどうでしょうか。

(委員) 次回の進め方についてお願いしたいことがあります。答申の 10 ページを、垂直統合というものがありますが、これはどのようなメリット・デメリットがあるのか、そもそも垂直統合はできるのか、ということについて理解を深め、集中的に議論した方がよいと思います。

(委員長) 審議会の答申の中に3つ案があるのですが、みなさん水平統合は想像しやすいと思いますが、垂直統合はイメージしにくいところもあると思います。事務局どうでしょうか。

(事務局) 次回の会議で資料を用意させていただいて、議論していただきたいと思います。

(委員長) 事務局の説明にもありましたが、今年度中に具体的な方向性を出していきたいと思っています。子どもたちにとってどのような環境を整えることが望ましいのかを基本にしながら、持続可能な公共教育の姿も視野に入れる必要があります。委員の皆さんには今日の資料によく目を通していただいて、案について良い点と課題点を考えていただいて、次回の委員会に参加していただきたいと思います。以上で終わりたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(委員) 新・行政改革大綱について、公営温泉は指定管理者・経営努力推進とありますが、これは経営努力をしなかった場合はどうなるのでしょうか。十分な経営努力がされているかチェックしていくことも必要かと思います。また、市立中学校については2～4校とありますが、これはなぜですか。10年前の検討を活かして、まず4校にしてから2校になれば、市民も納得しやすかったのにも思います。市営住宅については、施設数が県内で2位ということで、維持管理と市内業者優先の発注ということでお願いできればと思います。

(委員長) 新・行政改革大綱の内容については、この委員会の検討範囲からは外れます。担当課として、ご意見をいただいております。本日は、中学校の再編整備に関する検討について、これまでの経過や委員会の趣旨をご理解いただけたと思います。本日はありがとうございました。